

NPOひょうご思春期ピアカウンセリング研究会

## ピアっ子通信 in ひょうご

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学高田昌代研究室内

Tel&amp;Fax 078 (794) 8077 E-mail peer\_hyogo@yahoo.co.jp http://www.geocities.co.jp/peer\_hyogo/

## 2015年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催

思春期ピアカウンセリングとピアエデュケーションはともに、思春期ヘルスプロモーションの方策であり、若者が自分自身で人生のゴールを見つけ、それを生き生きと実現しようとしていく力を育てる健康教育手法である。

その能力とは、自分やパートナーの人生設計を壊さないように、性=生に関する意識や行動を自分で決められる能力のことをいい、性=生の自己決定能力と呼ぶ。



第12回目となる思春期ピアカウンセラー養成講座を6月～7月に開催しました。6月27日・28日・7月4日・5日の4日間に30時間の研修を神戸市看護大学で開催しました。

今年度は、神戸市看護大学、関西看護医療大学、京都橘大学に加え、神戸大学、姫路獨協大学からも参加者があり、17人の若者たち

が集まりました。

共通の目的を持った若者が集まり、先輩ピアとともに話し合い、交流する中で、新しい知識を身に着けたり、考え方に気づいたりすることになりました。

今後、仲間とともに、第12期ピアっ子たちが活躍することを期待します。

## 目次：

思春期保健関係者研修会 &思春期保健フォーラム	2
第6回思春期ピアカウンセリング全国大会	2
若者を応援する啓発媒体 を制作！	2
2014年度活動実績	3
思春期ピアカウンセリング を導入して	4
メッセージ	4

## 新ピアっ子の感想・抱負

受講後のアンケートに記された新ピアっ子の数多い感想や抱負の中から一部を紹介しします。

「相談された時の対応を学ぶことができて本当に良かった。でも、やっぱり自分のことが好きになれたことが本当にうれしかった、涙が出た。次は、自分が、その体験をさせてあげられるような働きかけをしてみたい。」この4日間で人間について、性について、色々なことに考えさせられた。本当に言葉では言い表せないけど、ところが洗

われた気がする。「思ったように話せなかったり、まとめられなかったりと、ピアの難しさを感じた。一方で、他大学の学生と交流でき、仲間「ピア」になれて楽しかったし、嬉しかった。「難しい内容が多かったけど、わかりやすく楽しかった。6/7月は、テストの時期で土日が勉強ができなくなるのは、とてもしんどかったけど参加して良かったと思った。」「今まで何かされることが多かったけど、参加して自分から距離を近めて行ったり、積極的に行動することが大切だと思った。」

## 思春期保健関係者研修会&思春期保健フォーラム



対談する  
北村先生とピアっ子

11月18日(水)に神戸市中央区の三宮研修センターに思春期保健関係者70人が集まりました。

今年度は日本家族計画協会理事長の北村邦夫先生をお招きし、～草食と呼ばれる若者たち?! 深刻化する少子化問題を現役産婦人科医が徹底追求～をテーマに、思春期保健関係者研修会(神戸市委託)と思春期保健フォーラム(兵庫県委託)を同日に開催しました。

前半は、北村先生が少子化の要因として考えられる要素について、最新のデータに基づいて当否を分析しつつ、少子化問題について熱意あふれる講演をし

てくださいました。

後半は、ピアっ子たち5人も壇上に登って若者世代の考え方を発言し、北村先生と少子化について話し合いました。

登壇したピアっ子

氏名	ピアネーム	所属
宇野 優作	おり	神戸市看護大学OB
藤本 綾香	あやか	神戸市看護大学
山本 真	やまちか	関西看護医療大学
大西 大己	だいき	神戸市看護大学
重田 あかね	しげちゃん	神戸市看護大学

## 第6回思春期ピアカウンセリング全国大会



全国のピアっ子と交流

第6回思春期ピアカウンセリング全国大会が9月19日(土)から20日(日)まで、福島県の郡山自然の家で「福島から広げようピアパワー! ~【拡散希望】みんなの元気玉~」をテーマに開かれました。

ひょうごピアからは、ピアっ子8人と大人ピア1人が参加しました。参加したピアっ子からのメッセージです。

福島の全国ピアに参加して私が感じたことは、得たものは多かったなあということです。まず全国ピアのスケジュールには、みんなと打ち解けられるようなレクリエーション要素が詰め込まれていました。これはラポールとして自分たちのピアに持って帰りたいな、と思う所が多かったです。

また、幸せの木やピアカフェなど、簡単にできて応用しやすいアイディアも沢山ありました。

例えば「封筒に入れる」というアイディア。最近のピアでライフラインを行った時にこれを取り入れたのですが、なかなか好評でした。「好きなものを選んでいいよ～」などと言って封筒を渡すと生徒から「かわいい!」など言われたり、どの封筒にするか迷っている子には「自分のイメージカラーで!」などと声をかけたり。封筒は「自分のものとして大切にしまっておく」という感覚を伝えるのにとっても良い媒体なのだと思います。

全国ピアで得たものは着実に自分たちのピアに活かされています。よりいいものに進化したピアを2年後にみなさんへ持っていけたらいいなと思います。

神戸大学 中川茉祐 (ピアネーム こん)

## 若者を応援する啓発媒体を制作!



ピアっ子たちとともに  
制作した啓発媒体

思春期の若者を対象とする啓発媒体として、若者が「いいなあ!」と感じ、手に取りたくなったり、持ち続けたくなくなったりするものを作るために、同世代の感性を取り入れることは一つの方法です。

今年度、兵庫県から委託を受けて啓発媒体を2種類制作しました。

1つは若者が自ら考え行動できるよう健康教育等で活用するための啓発媒体で、若者に使い続けてもらうためにクリアファイルにしました。

もう1つは「思いがけない妊娠SOS事

業」広報用の名刺サイズのカードです。

どちらもピアっ子の意見を内容やデザインに反映して制作しました。カードのデザインは、若者と同世代のデザイナー、佐藤未来さんの手に成るものです。

これらが若者たちの支援につながることを期待しています。

(クリアファイルは、学校としてご希望があれば、お分けすることが出来ます。当研究会までEメールでお問い合わせください。但し枚数に限りがありますので先着順とさせていただきます。)

## ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会 2014年度活動実績

### ピアカウンセラーの養成および関係者研修会の開催

第11回思春期ピアカウンセラー養成講座を神戸市看護大学で開催しました。ベーシック講座は、2014年6月28日・29日・7月5日・6日に行い、26人が修了しました。そして、実践経験を踏まえ、2015年2月14日・15日にフォローアップ講座を行いました。

思春期ピアカウンセリング関係者研修会は、2014年11月29日に神戸市中

央区の神戸国際会館で開催し、関係者およびピアっ子35人の参加がありました。

午前は「SNS社会における若者の健康被害」をテーマに、朝日新聞大阪本社社会部記者の須藤龍也さんに事例を中心に実情をご講演頂きました。午後は、グループに分かれて話し合いを行いました。



思春期ピアカウンセラー養成講座  
フォローアップ講座

### ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援

ピアっ子たちの実践活動は、少人数グループを対象としたピアカウンセリング、多数を対象としたピアエデュケーションおよび啓発を目的としたデモンストレーションに分かれます。

2014年度は、ピアカウンセリングを76回、ピアエデュケーション4回、デモンストレーション5回、合計85回の活動を行いました。実施場所は、高校5校、中学校3校、その他6か所でした。延べ参加者は2,892人になり、ピアっ子の延べ参加数は267人にのぼります。

2014年度新たに神戸市垂水区でピアサポートルームを始めました。神戸市が開催する学習支援事業の参加者の中から、希望する小中学生が学習支援事業後にピアサポートルームに参加します。事業の目的は、自尊感情を高めて、各自が勉強する意味に気づき、主体的に学習する意欲を高めることを支援することです。

【ピアカウンセリング実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
ピアサポートルーム名谷	希望者 延175人,12回	延32人
ピアサポートルームIn スクール	希望者 延41人,12回	延55人
垂水区学習意欲支援	希望者 延32人,9回	延28人
神戸市立須磨翔風高校	1年生 延966人,24回	延46人
篠山産業高校丹南校	3年生 22人,1回	3人
明石南高校	2年生 35人,1回	3人
三田祥雲館高校	希望者 42人,2回	延7人
播磨町立播磨中学校	2年生 200人,6回	延33人
尼崎市立小田北中学校	3年生 141人,3回	9人
神戸市立有野北中学校	3年生 190人,6回	延18人

【ピアエデュケーション実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
西脇北高校	全校生 260人,3回	延15人
神戸北高校	全校生 574人,1回	4人

また、徳島県で始まった思春期ピアカウンセラー養成に、ひょうごのピアっ子が先輩ピアとして参加しました。

鳴門海峡を挟んで、地理的にも近く、海をまたぐ2つの大橋で繋がっている地域です。今後お互いに協力しながら思春期ピアの活動を充実させていくことを期待しています。



高校での思春期ピアカウンセリング活動

### 会計報告

2014年度会計報告

	(単位：円)
収入	1,902,156
支出	1,673,193
当期収支差額	228,963
前期繰越金	19,783
次期繰越金	248,746

## 思春期ピアカウンセリングを導入して 学校からの報告

思春期ピアカウンセリング活動を実践していくにあたり、思春期ピアカウンセラーの養成はもちろん必要ですが、もう1つ欠かせないことは思春期保健関係者の協力です。改めて、この場を借りて感謝申し上げます。

そして、なかでも実践の場となる学校関係者の理解と協力があって、はじめて活動していくことができます。多くの関係者にご協力いただいておりますが、そのうちの2校の先生方からメッセージをいただきました。

本校では命の教育の一環として、3年生を対象に思春期ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援を取り入れています。また一歩大人へと近づく卒業前の生徒にとって、少し先輩のお兄さんお姉さんとのセッションは珍しく少し気恥ずかしい反面、いつの間にか心が開放されて自分の想いを自然に語れる場になったという感想を多く聞きます。特に、進路に向けて前進あるのみの日常生活の中で、自分の人生を振り返るライフラインの記入や発表は、「自己を見つめ他人を認める機会になった。」と毎年大好評の項目です。

神戸市の教育理念にある「人は人によって人になる」という言葉の通り、ピアという仲間の存在を知り共に支え合って生きる社会を築くことができる、そんな素敵な大人へと成長してほしいと願い、今後も継続して取組を進めていきたいと考えています。

神戸市立有野北中学校 養護教諭 中原由佳先生

本校では平成25年度から宝塚健康福祉事務所の協力のもと、思春期ピアカウンセリングを行っており、今年度で3年目になります。

参加対象は、1,2年生の保健委員と生徒会執行部を中心

に希望者を募り、毎年約20～30名の参加があります。

今年度は10月と11月の2回実施しました。事前の保健委員会でピアっ子さんからピアカウンセリングについての説明やPRをしてもらい、保健委員には意識づけをしてから実施します。またピアっ子さんとピアカウンセリングの内容について詳細な打ち合わせを行い、何度もメールで意見交換をしてプログラムを完成させてもらいました。今年度は、第1回目が「LINEでのピアブレッシャー」について、第2回目が「進路の自己決定」についてをテーマにして行いました。

参加した生徒たちは、特に「LINEでの付き合い方」について反応が大きく、コミュニケーションツールとしてかかせないものではあるものの、悩みも多いという実態や関心の高さを表す結果となりました。

全体の感想としては、「自分や人を知るよききっかけになったと思う」「他人には他人の考え方や生活があることを再確認できた」「いつも学校では学べないことを学ぶことができよかった」「誰かに話してみることが大切だと思った」など、肯定的な感想が多く、満足度の高い時間だったことがわかります。

また、この取り組みを通して、学校と地域保健機関、専門機関（大学）が思春期の課題について意見交換ができる貴重な機会となっています。

今後の課題として、生徒たちが参加しやすい日時の設定や保健委員以外の生徒も積極的に参加できるよう効果的なPR方法の検討などがありますが、今後も「peer」の資質を持った生徒たちが育っていきけるような環境づくりを目指して取り組みを続けていきたいと思っております。

兵庫県立三田祥雲館高等学校 養護教諭 脇田恵子先生

今後とも、皆さまの思春期ピアカウンセリングに対するご理解と活動に対するご協力をよろしくお願い致します。

### めっせーじ

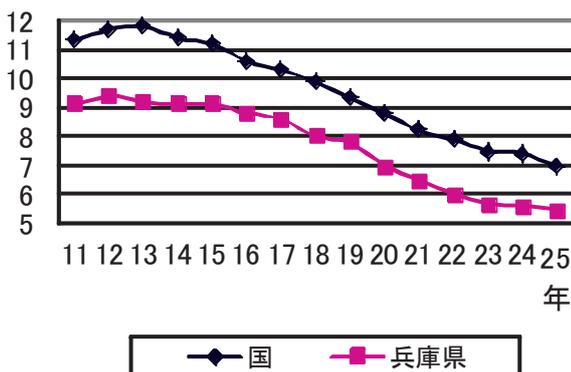
ピアっ子たちの活動を支援くださいます皆様に感謝申し上げます。

ピアカウンセラー養成講座を受講したピアっ子たちが、ピアカウンセリング事業を重ねて、どんどん逞しく成長していく姿に感動しています。これから益々ピアっ子が活躍してくれることを願っています。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。(K・S)

ピアっ子たちが活動するためには、地域の理解、環境整備、大人世代のバックアップは必須です。教育、医療、地域保健の関係者などたくさんの皆さんとともに力を合わせ、思春期の若者の性と生を支えたいと考えています。どうぞこの研究会にご参加ください。

年会費 個人会員3,000円 団体会員1口10,000円

人工妊娠中絶実施率  
(15歳以上50歳未満女子人口千人対)



15～19歳の定点観測による性感染症の件数  
(兵庫県及び神戸市)

